

経営比較分析表（令和6年度決算）

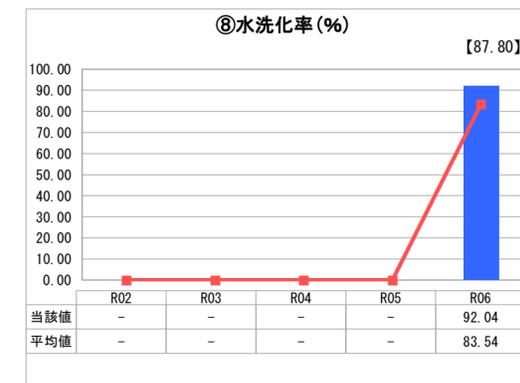
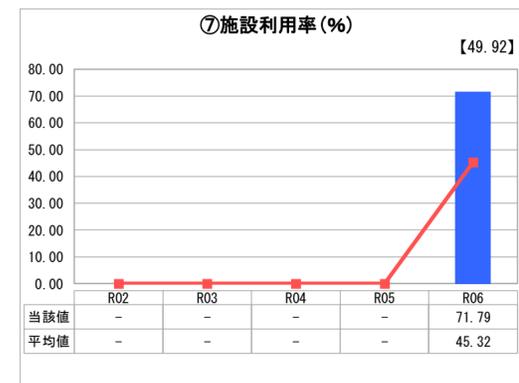
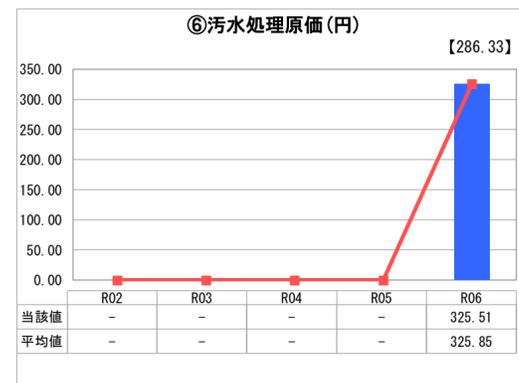
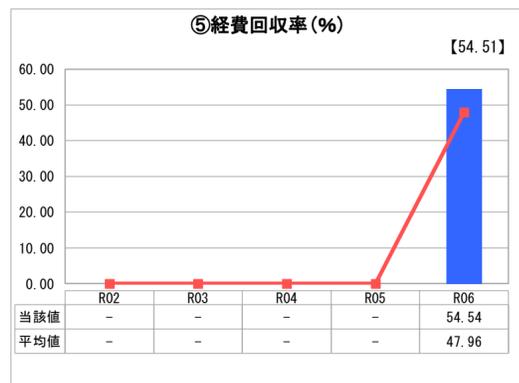
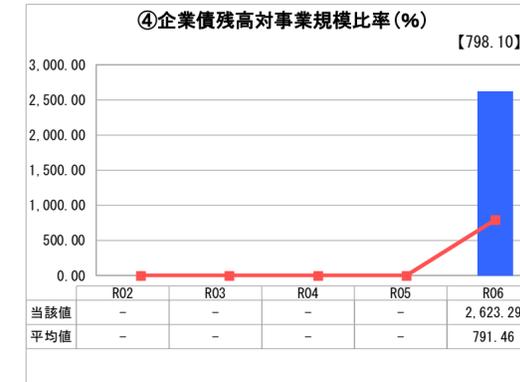
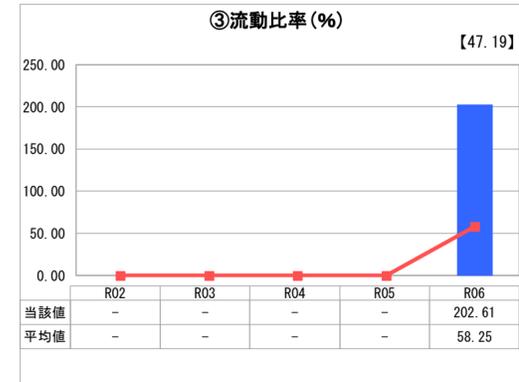
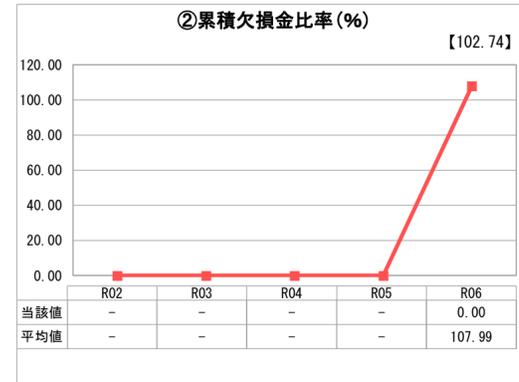
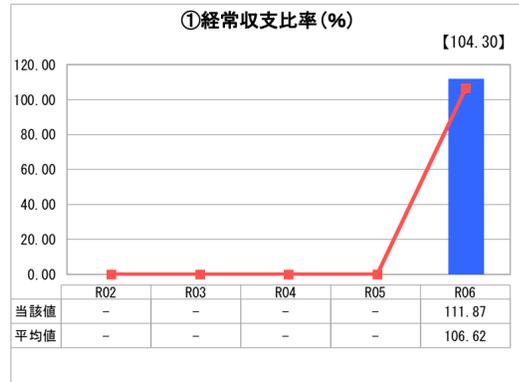
福井県 池田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	68.64	10.40	92.85	4,620

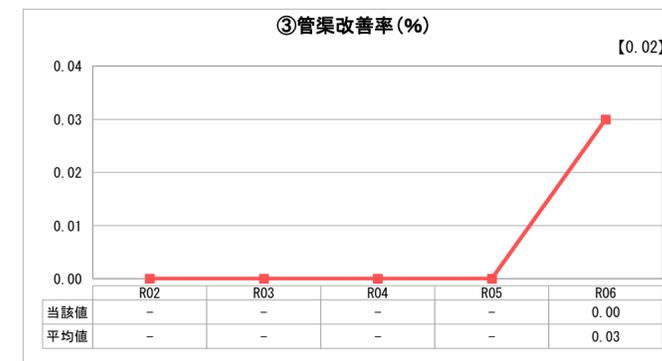
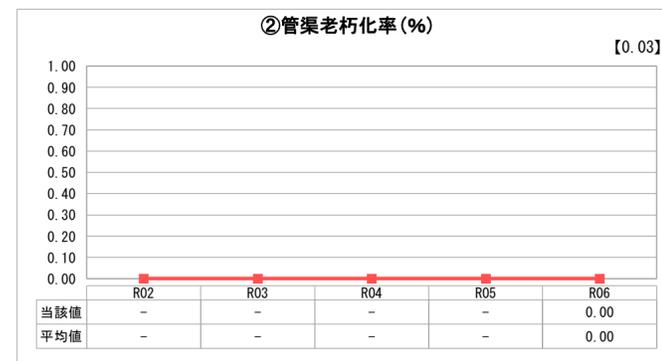
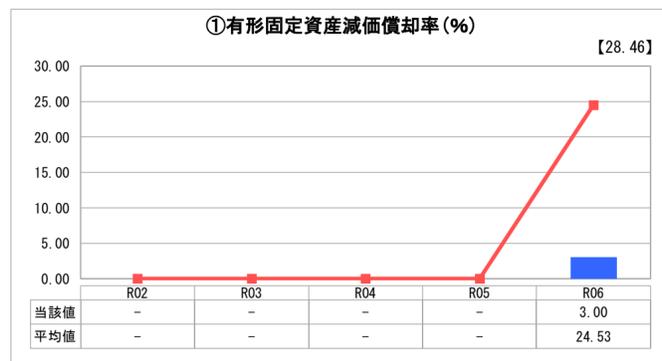
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,186	194.65	11.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
226	0.13	1,738.46

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は法適用初年度であり、類似団体平均との比較を中心に分析する。
健全性について、経常収支比率111.87%は類似団体平均(106.62%)を上回り単年度収支は黒字である。累積欠損金は発生しておらず、流動比率202.61%も類似団体平均(58.25%)を大幅に上回っており、短期的な支払能力は十分に確保されている。一方、企業債残高対事業規模比率2,623.29%は類似団体平均(791.46%)の約3.3倍と極めて高く、将来の元利償還負担が経営を圧迫する懸念がある。
効率性について、経費回収率54.54%は類似団体平均(47.96%)を上回るものの100%には届かず、使用料収入のみでは汚水処理費を賄えず一般会計繰入金に依存した構造にある。汚水処理原価325.51円は類似団体平均とほぼ同水準である。施設利用率71.79%及び水洗化率92.04%はいずれも類似団体平均を上回り良好である。今後は企業債償還負担の推移を注視しつつ、経費回収率の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

令和6年度は法適用初年度のため経年比較はできない。有形固定資産減価償却率3.00%は法適用初年度の資産計上によるもので、類似団体平均(24.53%)との差は会計上の要因が大きい。管渠老朽化率及び管渠改善率はいずれも0.00%であり、法定耐用年数を超過した管渠はなく、当年度の改善工事も実施していない。管渠は塩ビ管が主体で現時点では概ね健全であるが、今後の経年劣化に備え、最適整備構想によるストックマネジメントに取り組む必要がある。

全体総括

令和6年度は法適用初年度であり、公営企業会計により経営実態が明確となった。経常収支比率111.87%、累積欠損なし、流動比率202.61%と財務の安定性は確保されている。一方、経費回収率54.54%にとどまり使用料収入のみでは汚水処理費を賄えず一般会計繰入金に依存した構造にある。また企業債残高対事業規模比率2,623.29%と債務負担が重く、将来の償還負担への対応が課題である。老朽化については管渠老朽化率0.00%と現時点では健全であるが、今後の経年劣化に備え、計画的な更新と使用料水準の適正化に取り組み、持続可能な事業運営を目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。